

★自民党と反動の改憲策動、軍国主義路線を断固粉碎しよう！
★「搾取の廃絶」と「労働の解放」の旗を高く掲げよう！
★100万票を獲得し、労働者の代表を国会へ！

海つばめ

発行 労働の解放をめざす労働者党
発行所 全国社研社

〒179-0074 東京都練馬区春日町1-11-12-409
TEL/FAX 03(6795)2822 郵便振替 00120-6-166992
定期購読料(送料共) 1年分＝開封2000円 密封2500円
HP=http://wpll-j.org/ Eメール=webmaster@wpll-j.org

悪臭フンパンの安倍政権 アベノミクスもすでに種切れ

新しい労働者党の闘い今こそ

新しい労働者の政党として、我々が総選挙参加を決定し、その準備を始めた。さなか、9月17日の日曜日早朝、安倍が10月、国会解散・総選挙を決めた。トマスコミは一斉に報道し、来年12月まで任期が残っているにもかかわらず、総選挙が行われることになりました。

底抜けの政治腐敗糾弾

安倍の権力私物化と悪用は、森友学園・加計学園のスキヤダルでも明らかですが、それにしても政権延命のために何をしても構わないかのやり口には呆れるばかりです。北朝鮮の危機が異常に深化していると自らいながら、総選挙などしている場合でしょうか。

しかし安倍のどんな策動があろうとも、また供託金や選挙闘争参加への多くの不当な差別がますます激しくなるうとも、我々は決然として、我々の再び開始した闘いを最後まで貫徹する覚悟です。

「人づくり革命」の真意

安倍がまず総選挙で強調する政策は、「人づくり革命」といったものですが、それは仰々しい言葉のアヤとは裏腹に、極めて安直で内容のないものです。

安倍が「人づくり革命」の内容としてあげるものは、幼児教育の無償化や、すべての人に対する大学教育の機会確保や、社会人が再び学校に戻って教育を受けられるようにする、といったことにすぎません。

そもそも少子高齢化や人口減少だから、もとの「高度経済成長」に戻さなくてはならない、教育への「投資」だ、高齢者向きにかたよっている社会保障を「全

世代型の」社会保障に変えるというのですが、理屈の筋道がめちゃくちゃです。

社会保障政策もめちゃくちゃ

安倍はまた9月12日、商業新聞のインタビューに答えて、教育無償化の財源として国債(「教育国債」)を増発することなどに加えて、社会保障を高齢者に「偏らず」やるなどと主張し始めています。

「高齢者向け給付が中心」となっている社会保障制度を、全世代型社会保障制度に改革していく。

財政膨張を野放し、国家破産、生活破壊へ一直線

しかもそんな政治のために、何兆円という余計な力ネが必要ですが、それを借金(赤字国債)の増発でやるというのですから、安倍の無節操、無原則には限度がありません。彼は2020年までにとにかく財政均衡を実現すると大言壮語してきたのです。

「幼児教育」への「投資」

といっても、カネを各家庭にバラまくというのですから、「幼児教育」――それがどんなものなのかは知りませんが――の「投資」になるなどということは間違ってもあり得ません。せいぜい金持ち家庭の「お稽古ごと」に支出されるか、貧しい家庭では生活の足しにさ

ネをバラまけば教育支出が増大するから、景気にプラスになるとおっしゃるに至っては、空いた口がふさがりません、というのは、安倍は過去2回、消費増税は国民の支出を鈍らせ、景気に悪影響を及ぼすといって延期して来たからです。こんなことは反対に、消費増税をすれば景気が良くなるというて、誰が信用できるでしょうか。全くいい加減で、冗談にもほどがあります。

そして安倍は5年近くも続けてきて、未だに実現していない消費者物価指数2%の引き上げをさらに追求するというのが、毎年2%ずつ物価上昇が続くなどという社会を、働く者は少しも望んでいません。

行方も知らぬ「改憲の道」かな

そして経済優先とあればどう言ってきたのに、今や本性を現して、憲法改定の意図を露骨に出してきましたが、改憲論者として腰も据わっておらず、憲法9条を明瞭に変えるのでなく、もとの9条は残しつつ、「自衛隊」という「言葉を入れること」にこだわるというのですから、無責任で、いい加減なものです。

安倍が政治生命を賭ける9条改定は、国家主義派にとつて「目の上のたんこぶ」の1、2項を残して、自衛隊合法化の3項を加えるというのですから、安倍らにとつても矛盾した、大義のないもの、単なるご都合主義になっています。保守派の中からさえ「筋も通らず、

論理もない」と批判されているようなものですから、労働者、勤労者派もちろん、保守派、反動派の支持さえ期待できそうにありません。そんな改革をしたら、9条はそれ自体矛盾し、憲法も混沌としたものになるし、紛糾のもととなるだけです。

安倍は「改憲した首相」という名前だけがほしいのですから、破廉恥です。

安倍に大言壮語の実行を迫ろうー新しい労働者党の闘い

我々は春の大会で総選挙参加を決定すると共に、「長時間労働に象徴される搾取労働、非正規労働者の急増に代表される搾取労働

労働者派の代表を国会へ 結党大会で国政への再挑戦を決定

私たち「労働の解放をめざす労働者党」(略称・労働者党)は、今年4月に結成されたばかりの新しい労働者政党です。かつては社会主義労働者党(社労党)等として国政、地方選挙に合わせて10数回参加した

経験を持ちますが、財政事情などでこの10数年はサークルとして活動してきました。

結党大会で国政への再挑戦を決めたのは、悪臭芬々たる安倍政権や無力と政治的墮落を露呈する民進・共

産など既成政党の腐敗、頽廃が深まる中で、今こそ新たな労働者派の国会議員を誕生させるべく立ち上がるべきと、決意したからです。

そして三段跳び競技になぞらえてホップ(17年衆院選)、ステップ(19年参院選)、ジャンプ(22年参院選)と中長期的な計画を立て、5年後には必ず労働者派の議員を誕生させることを決議しました。

すでに9月13日には、京浜急行横須賀中央駅での街宣を開始し、安倍政権打倒の闘いの火蓋を切りました。街宣していると、「ここは小泉の地元だが、頑張ってくれ」とか、「安倍政権には頭にくている。応援します」など話しかけてくる人もいて、新労働者党に興味津々の雰囲気でした。共に闘いましょう。



選挙区内の京急横須賀中央駅頭で訴える代表委・あくつ(写真中央左)



モリもカケも食べたい放題

飛耳長目

★ポピュリス ト小泉は、労働者の保険料に1%の上積みをし、子供をもつ家庭にバラまくという「子ども保険」構想を自分の「看板政策」として得意気に掲げてきました。安倍らのように、その財源を国債に頼るのは、未来の世代に負担になって良くない

というのが彼の案の売りでした★しかしその案は、労働者にもブルジョアにさえも不人気で、彼は行き詰まり、経団連や経済同友会にまで乗り込んで、「全世代が支え合う社会保障の運動を考えている。そのために、年金を必要としない富裕層に年金返上を求めて、子育てで財源に充てる制度を考えている。：返上者には厚生大臣表彰や叙勲などすることもある」と経済人がよだれを流す「叙勲」までも持ち出したが、色よい返事はもらえませんでした★そして小泉にはお気の毒なことに、ブルジョアたちはいわば正式に、「子ども保険」は受け入れられないと表明、小泉のメンツを丸つぶしにしましたが、「財界」としては「年金、医療、介護などで現役世代や企業の社会保障料負担は際限なく増えている。子育ても現役や企業にのみ負担を求められている」というわけでは、★4百兆円もの剰余金(内部留保)を貯め込みながら法人減税に狂奔する財界人たちが、社会保障負担をやりますと決して言えないにしても、小泉構想はブルジョアたちにも不人気で、すでに破産しています。(鵬)

ストーリー主義そのものの権謀術策

〒238-0052
労働者党神奈川県事務所
横須賀市佐野町5丁目30番地
電話 046-8995-0732